

## 12 てんかんについて

脳の神経の一部が活発に活動し過ぎるために、発作がくり返し起きる病気です。身体の一部あるいは全身がけいれんしたり、また意識だけが失われるなど発作の起き方はさまざまです。

てんかんは、約100人に1人の割合で生じると言われており、日本には約100万人いると推計されています。

適切な治療・服薬により発作をコントロールできれば、安定した社会生活を送ることができます。

じ

### 事例22

### 職場で

私にはてんかんの発作があり、薬を服用しています。仕事が忙しく、不規則な生活が続いたためか、先日、職場でてんかん発作が起きました。発作はすぐに治まりましたが、その後、上司から「仕事をやめた方がいいのではないか」と、退職を勧められました。

### こ

### んな配慮をお願いします

てんかん発作が起きた場合、周囲の人はあわてずに見守るようにしましょう。意識を失う発作や倒れる危険性がある場合には、危険なものから遠ざけたり、頭を打たないようにやさしいものを敷くなどの対応をしましょう。意識が回復しないうちに、次の発作が起きる場合や、けいれんが10分以上続くような場合は、病院受診を勧めましょう。

てんかん発作の多くは、適切な治療や服薬によりコントロールすることができ、安定した社会生活を送ることが可能です。しかし、周囲の正しい理解がないために、誤解や偏見を招いてしまい、仕事や社会生活を続けられない状況になっていることがあります。

周囲の人は、適切な治療や服薬により発作をコントロールできることや、そのための通院の必要性について理解しましょう。

